

東日本大震災4周年行事「ACT With Japan」

(2015年3月7日)

3月7日、シアトル市内のシアトル・アジア美術館において、ワシントン州日米協会との共催により、東日本大震災4周年行事「ACT With Japan」を開催しました。

本行事では、ローリー・マツカワ KING5 ニュースアンカーをモデレーターとして、ベン・エリクソン氏 (Seattle Japan Relief.org 創設者)、ジョン・アーレンフェルド氏 (ピース・ウィンズ・アメリカ)、ブリット・ヤマモト氏 (iLEAP)、ナヴィード・サファビ氏 (キズナ強化プロジェクト参加者) の4名により、東日本大震災後に日米間に新たに生まれた人と人との繋がりについてパネルディスカッションを行いました。

パネリストからは、それぞれの実体験に基づき、被災地の支援を通じて新たに生まれた草の根交流や、今後の日米協働のあり方などについて多くの意見が出されました。また、カリン・ザーグ・ブラック女史 (シアトル神戸姉妹都市協会) からは、本年が阪神・淡路大震災から20周年にあたることを踏まえ、被災地との繋がりを継続することの大切さについてお話いただきました。更に、ノースウェスト少年合唱団やソング・オブ・ホープの協力を得、パネルディスカッションの前後に合唱を行いました。

当日は気候にも恵まれ、約200名収容の会場は満席になり、立ち見が出るほどの大盛況となりました。

